

香川高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	社会特論
科目基礎情報						
科目番号	1047		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子システム工学科（2018年度以前入学者）		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	なし					
担当教員	石丸 健					
到達目標						
世界は大量生産・消費による環境破壊、人口爆発と貧困、グローバル経済と諸紛争、テクノロジーの発達に起因する負の影響など、諸問題が山積している。このような諸問題が即、日常生活レベルと通底していることが極めて現代の特徴であり、今こそクールな情熱と豊かな総合知としての哲学が求められている時代は他にない。豊富な思考資料の下、豊かな試行錯誤を心掛けたい。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	人類が直面している諸問題を哲学的な観点から深く理解し、その根源を論じることができる。		人類が直面している諸課題を哲学的な観点から深く理解している。		人類が直面している諸課題について哲学的に思考する力が十分に身についていない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	個体発生は系統発生を要約して繰り返す（ハッカル）と言われるように、個人の精神史と世界のそれとは局面はどうであれ関連している。哲学概説を兼ねて哲学する意味を考えたい。世界内存在としての自己と諸問題、そして哲学的知の拡がりに思いを馳せる。西洋哲学史を歴史的に鳥瞰しつつ哲学と時代を考察する。					
授業の進め方・方法	講義形式。学生との議論も積極的に行っていく。					
注意点	テーマによっては映像を使用することもある。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	哲学概説	自己を形成している精神内容を見つめる眼と 他者理解の態度を涵養する。A1:3		
		2週	個人史としての哲学	自己を形成している精神内容を見つめる眼と 他者理解の態度を涵養する。A1:3		
		3週	現代世界の諸課題と哲学（1）	世界の諸問題と世界内存在としての自己。A1:3		
		4週	現代世界の諸課題と哲学（2）	世界の諸問題と世界内存在としての自己。A1:3		
		5週	現代世界の諸課題と哲学（3）	世界の諸問題と世界内存在としての自己。A1:3		
		6週	哲学知の様々なあり方（1）	さまざまな知的在り方があること理解する。A1:3		
		7週	哲学知の様々なあり方（2）	さまざまな知的在り方があること理解する。A1:3		
		8週	西洋哲学史概説	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し、時代の役割を果たした事を知る。A3:1		
	2ndQ	9週	神話的世界	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し、時代の役割を果たした事を知る。A3:1		
		10週	ソクラテス以前	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し、時代の役割を果たした事を知る。A3:1		
		11週	ソクラテス	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し、時代の役割を果たした事を知る。A3:1		
		12週	プラトン	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し、時代の役割を果たした事を知る。		
		13週	アリストテレス	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し、時代の役割を果たした事を知る。A3:1		
		14週	ヘレニズム哲学	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し、時代の役割を果たした事を知る。A3:1		
		15週	神学	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し、時代の役割を果たした事を知る。A3:1		
		16週	前期期末試験	前期の内容の理解度を確認する。		
後期	3rdQ	1週	近代的哲学と科学的思考	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。A1:3		
		2週	デカルト	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。A1:3		
		3週	大陸合理論	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。A1:3		
		4週	イギリス経験論	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。A1:3		
		5週	カント	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。A1:3		
		6週	ヘーゲル	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。A1:3		
		7週	キルケゴール	混迷の度を深める現代世界、総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。A1:3		

		8週	マルクス	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。A1:3
	4thQ	9週	ニーチェ	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。A1:3
		10週	現代哲学	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。A1:3
		11週	フッサール	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。A1:3
		12週	ハイデガー	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。A1:3
		13週	総合知、世界観としての哲学（１）	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。A1:3
		14週	総合知、世界観としての哲学（２）	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。A1:3
		15週	東洋的形而上学	世界の偉大な知的伝統の十字路である日本とは何か。A1:3
		16週	後期期末試験	後期の内容の理解度を確認する。A1:3

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0